

健保ニュース 第184号

日本電子健康保険組合

ホームページアドレス <http://www.jeol-kenpo.com/>



「生涯健康」が健保組合の願いです

夏のシーズンは、相変わらずの猛暑でした。でも終わりに雨が続き、長雨がひと段落したところで、いつのまにか秋風が感じられるようになりました。例年になく夏が駆け足で過ぎ去った感じです。急激な気候の変化で、体調を崩されないように注意して頂きたいと思います。

平成26年度は一般保険料率を減率改定して初めての決算となりました。結果は4年連続の黒字となり、収支は均衡する状況となりました。平成27年度には、厳しい財務になりそうな状況です。長期的な視野を見据えた健全な運営を心掛けます。

健保組合では、みなさんから保険料をお預かりし、万一病気、怪我などをされた場合、必要な費用負担をします。みなさんとそのご家族が健康を維持すれば、必要なお金も少なくなり、その結果保険料も減額されます。但し、みなさんが現役を退かれた後でも病気に罹患すれば、国全体としての医療費が増加し、納付金が増額して健保財政を圧迫します。従って、みなさんとご家族が「生涯健康」であり続けることが、健保組合にとって大変望ましいことなのです。

健康で長寿を全うすることが当人の人生を充実させるだけでなく、後輩たちに負担を掛けないこととなります。そのためには、数十年後の自分の健康に責任が持てる生活を過ごすことが大切です。健康に留意し、体調を崩した場合は、早めに病院に行くなどの対応が必要です。

生活習慣の見直しは遅すぎるということはありません。みなさんが社会のため、家族のため、そして自分自身のために、「生涯健康」に向かってなにをすべきか考えるひと時があれば、うれしく思います。

平成26年度事業報告・決算

保険料率減率にも拘わらず4年連続の黒字決算

但し、平成27年度は赤字予測

平成27年7月17日に開催した第123回組合会にて、日本電子健康保険組合の平成26年度事業報告および収入支出決算が承認されました。一般勘定の経常収支は73,788千円の経常黒字となりました。黒字決算は平成23年度から4年連続となります。別途積立金も増額され、合計607,003千円となりました。

介護勘定では、23,312千円の残金を計上しました。

尚、平成27年度は、国に納める納付金が平成26年度734,778千円から894,199千円(予測値)と大幅に増額しており、一般勘定は赤字決算となることが予測されます。

1. 財政状況

(1) 一般勘定

一般保険料率(健康保険料率)を1,000分の95から、1,000分の86へと減率改定しました。これにより、保険料収入は平成25年度と比し81,591千円の減額となりました。経常収入は83,333千円の減額となっております。

一方支出では、平成25年度と比べると保険給付費が増額となり、経常支出は8,461千円の増となりました。

平成26年度の経常収支差は73,788千円の黒字となりました。

平成27年度は納付金の大幅増により、赤字予測です。但し、納付金は年毎に乱高下する傾向があります。平成27年度は料率改定をせず、今後の財政動向を注視します。

(2) 介護勘定

介護保険料率を1,000分の12としました。単年度では3年連続の黒字となりました。

2. 事業運営

事業計画に盛り込んだ事業は全て実施しました。

特に組合員の健康維持・増進のための健康診断やインフルエンザ予防接種などの保健事業は、従来どおり積極的に取り組みました。また、アミノインデックスがんリスクスクリーニングを試行実施しました。

今後も組合員に有益になる事業は、検討吟味のうえ、実施していきます。

平成26年度 収入支出決算概要表

[一般勘定]

収入の部

単位：千円

科 目	決 算 額	前年度 決算額	増 減
健康保険料収入	1,657,999	1,739,590	△81,591
保険料	1,657,521	1,739,114	△81,593
国庫負担金収入	478	476	2
*調整保険料収入	25,548	24,213	1,335
繰 入 金	0	0	0
*準備金繰入	0	0	0
退職積立金繰入	0	0	0
国庫補助金収入	696	761	△65
特定健診・保健補助金	696	761	△65
*その他	0	0	0
*財政調整事業交付金	12,368	9,300	3,068
*高額医療交付金	12,368	9,300	3,068
雑 収 入	3,516	5,143	△1,627
利子収入	187	163	24
施設利用料	3,116	2,886	230
高額・出産貸付回収金	0	0	0
*補助金等追加収入	72	22	50
その他	141	2,072	△1,931
収入合計	1,700,127	1,779,007	△78,880
経常収入（*を除く）	1,662,139	1,745,472	△83,333



支出の部

単位：千円

科 目	決 算 額	前年度 決算額	増 減
事 務 所 費	37,863	34,252	3,611
組 合 会 費	106	115	△9
保 険 給 付 費	720,674	694,105	26,569
法定給付費	699,463	674,743	24,720
付加給付費	21,211	19,362	1,849
納 付 金	734,778	765,265	△30,487
前期高齢者納付金	329,085	363,904	△34,819
後期高齢者支援金	331,361	321,017	10,344
病床転換支援金	0	0	0
退職者給付拠出金	74,323	80,334	△6,011
老人保健拠出金	9	10	△1
保 健 事 業 費	92,354	83,751	8,603
還 付 金	374	0	374
保険料還付金	368	0	368
*調整保険料還付金	6	0	6
*財政調整事業拠出金	25,437	24,104	1,333
連 合 会 費	667	579	88
積 立 金	1,400	1,700	△300
雑 支 出	286	243	43
*補助金等返還金支出	145	120	25
その他	141	123	18
予 備 費	0	0	0
支出合計	1,613,939	1,604,114	9,825
経常支出（*を除く）	1,588,351	1,579,890	8,461

収支差

単位：千円

科 目	決 算 額	前年度 決算額	増 減
収 支 差	86,188	174,893	△88,705
経常収支差額	73,788	165,582	△91,794

[介護勘定]

収入の部

単位：千円

科 目	決 算 額	前年度 決算額	増 減
介護保険収入	146,842	135,443	11,399
繰 越 金	701	982	△281
繰 入 金	0	0	0
雑 収 入	2	3	△1
収入合計	147,545	136,428	11,117

支出の部

単位：千円

科 目	決 算 額	前年度 決算額	増 減
介 護 納 付 金	124,233	117,727	6,506
還 付 金	0	0	0
積 立 金	0	0	0
収入合計	124,233	117,727	6,506

収支差

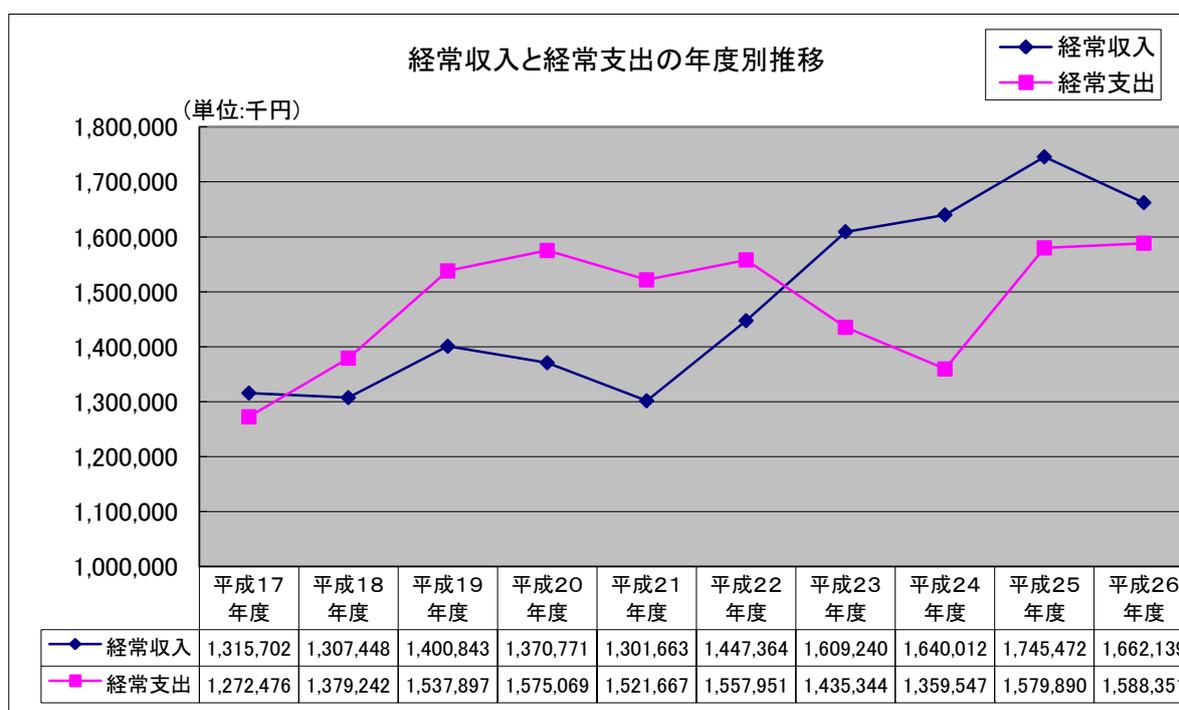
単位：千円

科 目	決 算 額	前年度 決算額	増 減
収 支 差 額	23,312	18,701	4,611

[財産目録]

単位：千円

科 目	平成26年度末	平成25年度末	増 減
法定準備金	370,000	370,000	0
別途積立金	607,003	520,922	174,785
退職積立金	14,400	13,000	1,700
建物	19	19	0
介護準備金	70,000	47,000	18,000
その他	192	192	△65
収入合計	991,614	951,133	194,420

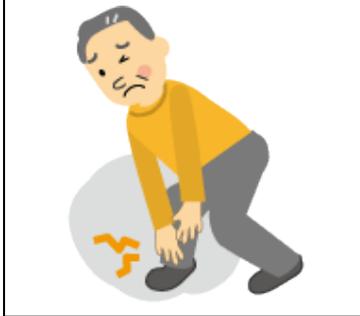


【柔道整復師（接骨院・整骨院）や鍼灸師の正しいかかり方】

接骨院・整骨院は病院ではなく、「柔道整復師」と呼ばれる専門職が施術しています。「柔道整復師」は医師ではありませんので、健康保険の適用が制限されます。施術を受ける前にきちんと確認して正しく施術を受けましょう。

〔健康保険が使える例〕

①急性又は亜急性の外傷性捻挫・打撲



②医師の同意がある場合の骨折・脱臼の施術



③応急処置で行う骨折、脱臼の施術（応急手当て後の施術には医師の同意が必要）

④医師の同意書または診断書があるはり、きゅう、マッサージ



〔健康保険が使えない例〕（全額自己負担となります。）

①日常生活での単なる疲労肩こり、腰痛、体調不良等



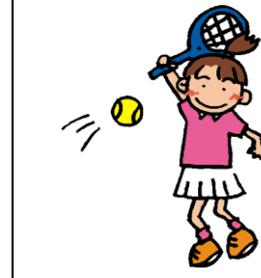
②病気（神経痛、リウマチ、五十肩、関節炎、ヘルニア等）による凝りや痛み。



③脳疾患後後遺症等の慢性病

④症状の改善がみられない長期の施術

⑤スポーツなどによる肉体疲労、筋肉痛



⑥工作中や通勤途上におきた負傷（労災保険からの給付になります）

〔柔道整復師にかかるときの注意事項〕

1. 負傷原因を正確に伝えましょう。
2. 病院との治療の重複受診は不可です。
3. 施術が長期にわたる場合は、内科的要因も考えられますので、医師の診断を受けてください。
4. 療養費支給申請書は必ず自分で署名・捺印（サイン）してください。
・・申請書にある負傷原因、傷病名、日数、金額をよく確認してください。
5. 領収書を必ず貰い、「医療費のお知らせ」で確認しましょう。
6. 「ついでに他の部分も」や「家族に付き添ったついでに」受診は保険適用外です。

健保組合では、皆様に納めて頂いた大切な保険料を正しく使うために、柔道整復師による施術内容の確認をさせて頂く場合があります。皆様のご協力を宜しくお願い致します。

[事務局だより]

みなさんの標準報酬月額が変わります

標準報酬月額とは、毎月の保険料計算などの計算基礎になる月額のことです。

毎年一回、7月1日現在在籍の被保険者全員について、4、5、6月に受けた給与の平均額から標準報酬月額を決定します。

決定された新しい標準報酬月額は、9月分の保険料計算から適用され、10月の給与から控除されます。

ただし、従前の等級と2等級以上の差が生じ、固定的賃金も同様の変動があった場合には、変動後4ヵ月目から新しい標準報酬月額に変更されます。

※保険料については 当組合 HP <http://www.jeol-kenpo.com/>「健康保険」および「介護保険」コンテンツ「保険料の決め方」「保険料月額表」をご参照ください。

インフルエンザワクチン予防接種の実施

インフルエンザの流行に先立ち、ワクチンの予防接種を実施します。

日本電子 本社	11月5日(木)、6日(金)、11日(水)
日本電子テクニクス	11月9日(月)15:00~
日本電子 東京事務所(大手町)	11月9日(月)午前
日本電子 東京第二事務所(立川)	11月2日(月)午前
日本電子工業相模原工場	11月2日(月)午後

募集はすでに締め切っておりますが、申込みを忘れた方は、ご相談ください。
地方の被保険者は、事業所担当者にご相談ください。

アミノインデックスがんリスクスクリーニング

「がん」の早期発見・早期治療に有効ながんリスクスクリーニングの実施をお手伝いしています。昭島では巡回実施を予定しています。(12月17日実施予定)

地方で実施できる病院も案内しております。興味のある方は健保組合まで問い合わせ下さい。

被扶養者再認定を調査

10月に被扶養者の再認定調査を実施しています。

この調査は、厚生労働省の指導に基づき、保険給付適正化の観点から毎年実施しています。

今回の調査は、健康保険の被扶養者になっていて、「給与所得者の扶養控除等(異動)申告書」に記載されていない人を対象としました。(調査対象者人数1,519名 直接調査対象者50名) 調査対象の方で調査書未提出の方はご協力お願い致します。

山中湖保養所が年末年始まで楽しめます

山中湖保養所は、年末年始まで開館しております。雪化粧された富士山と美味しい料理で、のんびりと過ごしてみたいいかがでしょうか。

なお、今年度の休館期間は、1月4日から3月中旬予定です。

契約保養所のご案内

契約保養所として、「リゾートトラスト」と「東急ハーヴェストクラブ」を契約しています。

リゾートトラストは、ルームチャージでの料金設定が基本ですが、シーズンに合うお得な1泊2食のプ

ランもあります。東急ハーヴェストクラブでは、1人あたりの料金と宿泊プランが設定されています。

詳細は当組合HP <http://www.jeol-kenpo.com/>の「保養所」をご参照ください。

ジェネリック医薬品を使いましょう

ジェネリック医薬品は新薬の特許が切れた後に販売される新薬と同じ有効成分、同じ効能・効果をもつ後発医薬品です。新薬からジェネリック医薬品に変更することで、みなさんが支払う薬代が今までより安くなり、全体医療費の削減もできます。

薬を処方される際は、医師または薬局にジェネリック希望の申し出をしてみてください。

組合の現勢（平成27年9月末現在）

一般保険		介護保険	
被保険者数	2,958名	該当被保険者数	1,655名
男子	2,475名	男子	1,406名
女子	483名	女子	249名
被扶養者数		該当被扶養者数	
男子	1,052名	男子	1名
女子	2,088名	女子	743名

編集後記

マイナンバー通知がお手元に届くころだと思います。社会保障や税金に有効な制度としてPRされています。ところがここに来て、官公庁による個人情報漏洩やマイナンバーシステム設計に関わる賄賂事件などがあり、マイナンバー制度も大丈夫なのだろうかと不安がよぎることとなりました。

健康保険でも平成29年1月から使用開始となります。人が作るシステムに完璧はありませんが、できることを模索しながら、システムがより良く動く体制を作り上げたいと考えています。

平成27年10月30日発行

日本電子健康保険組合

〒196-8558 東京都昭島市武蔵野三丁目1番2号

編集・発行責任者／関 敦司